
拉致られて、捨てられて

朝寝坊太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

拉致られて、捨てられて

【Zコード】

Z8010Y

【作者名】

朝寝坊太郎

【あらすじ】

フツーに生きていた、俺、黒川 優太は、異世界に勇者として呼ばれる時、勇者になれる可能性なしと判断され捨てられた。
どーすんの俺！

プロローグ

大学受験を控えた、冬休み。

俺は、夜食買いに「コンビニ」行き、そして

「いやいやなぜに」

魔方陣に飲み込まれ、

『勇者候補を発見、接続開始・・・完了』

『成功、精神改造開始・・・終了』

『隸属の首輪設置開始・・・対象に魔力がないため失敗』

『魔力がないため勇者になれる可能性なしと判断』

『捨てる』

『場所、下竜種の近く』

『成功・・・呪い発動・・・成功』

『解呪方法下竜種の殺害』

『次の勇者候補へ』

それが、日本で聞いた最後の声？だった。

第一話 状況確認

『起きてくださいマスター』

「誰だよー。」

誰もいないのに話かけられた俺は、超びびった。
周りは、森で木が多い。

『いじめられています。マスター』

「いや剣しかないんだけど」

そこには、切れ味のよさそうな剣が一本しかない。

『それです。私は、その剣に内蔵された人工精霊7・889と申します』

『それで、いじめられ。変な声聞いたから色々分かるけど』

それに俺は、普通こんな変なことに巻き込まれて落ち着いてらなかつたのだが。

『いじめは、アイリア王国のはずれの森です。マスターには、精神改造がなされていますのでマイナス方面には、悲しみや理性が失われることは、ありません』

「心を読んだのか」

その場合とてもまづいのだが。

『はい。精神改造をしたときにバスを繋ぎ心が読めます』

「どこまで俺に、情報を渡しても大丈夫だ。それとその情は、本当

なのが

『私の製作者以外のすべての情報は渡しても大丈夫です。正確さは、私の入っている情報は入れた情報が正しいのならすべて正しいです』

「お前の受けた命令はなんだ」

『マスターを助けること。それ以外は、ありません』

なぜそんなに命令が少ない。

『理由は、魔力がある人には隸属の首輪がされますから』

「お前は、心が読めるのだつたな。それと魔力と何が関係する」

『魔力があると魔法が使えます。魔力がないのは、異世界人だけですでの、魔力のない人見下されます。魔方陣に捉まつたら最後こちらに必ず呼ばれます。ですから呪いが掛けられます』

「あの下級竜の殺害か?」

竜と言われるにだから強いのだろうか?

『そうです。それと強いです』

「ああこれから頼む」

ため息をつきながら皿らの相棒?にそう言つた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8010y/>

拉致られて、捨てられて

2011年11月23日21時51分発行